



2025年 生活発表会 「レッツ！めろん組バーベキュー！」

【歌とダンスが大好き！】

入園・進級当初から毎日朝の会では、体操を踊ったり、歌を歌ったりすることが大好きなめろん組の子どもたち。4月の頃は、少し恥ずかしそうにしながら周りの様子を見て踊っていた子どもたちも、園生活にすっかり慣れ、今では元気いっぱいに歌いながら思いきり踊る姿が見られるようになりました。音楽に合わせて体を動かすことを楽しみ、友だちと笑い合いながら踊る姿に、子どもたちの成長を感じます。



10月からお当番活動が始まり、朝の会ではお当番さんがみんなの前に出て踊ってもらっています。最初は人前に出ること少し恥ずかしさを感じていた子もいましたが、友達と一緒に取り組むことで安心感を持てるようになり、少しずつ自信がついてきたようです。繰り返し行う中で「できた！」という達成感を味わいながら、人前での表現を楽しむ姿も見られるようになっています。また、歌の「さんぽ」は子どもたちと一緒に考えて振り付けをしました。歌詞に合わせて「これどうかな?」「こんなのもどう?」と子どもたちからアイデアを出してもらいながら作ったものです。発表会にも取り入れていますので、元気な歌声とかわいい振り付けにご注目ください。



みんなで振り付けを考えました



食べたらニコニコおいしいね!



BBQごっこが広がったこと (No.2 参照) をきっかけに取り入れ始めた「やきにくのうた」の歌。手でお肉や野菜を焼く表現をしながら歌って踊ります。途中の「食べたらニコニコおいしいね!」という部分がとてもかわいいのでご注目ください。



また、音楽にあわせたふれあい遊びも大好きなめろん組の子どもたち。お題に応じて身体部位同士を友達とくっつける「ひっつきもっつき」や、友達とペアやグループになって「洗う」・「すすぐ」・「干す」などの洗濯の作業を身体で表現する「ぐるぐるせんたく」、バスに乗った様子を模して身体をリズムに合わせて揺らす「バスにのって」など、様々なふれあい遊びを楽しんでいます。

最初は、ペアになるというだけでも緊張した面持ちの子どもたちも、繰り返ししていくうちに息を合わせた動きが楽しくなったり、お互いに腕を揺らし合うと自然に笑顔になったりと、緊張もほぐれていきました。ペア作りも「○○ちゃん(○○くん)一緒にしよう!」と自分たちで誘い合うようになり、人数の関係でペアが作れなかった子を見かけると、「ここ来ていいよ!」「3人で一緒にしよう!」と子どもたちから声を掛けてくれる姿も多く見られるようになりました。友達がいるから楽しい、友達と一緒にだから楽しい。遊びの中からそんな気持ちも芽生え、そして広がりつつあるようです。



【身体を動かすこと・表現すること】

体を動かして遊ぶことが大好きなめろん組の子どもたち。園庭では、しっぽ取りゲームをして思いっきり走ることを楽しんだり、フープや平均台などの遊具を用いたサーキット遊びでグーパージャンプをしたり、バランスを取ったり、歩いたりなど体を動かすことを楽しんでいます。

また、保育室内では演奏するピアノの音の高さや演奏のスピードに応じて、走ったり、歩いたり、止まったりなど音に合わせた動きを楽しむリズム遊びも行ってきました。音のテンポや曲調に耳を傾けながら、「象さんがやってきたよ」という声掛けをすると、ゆったりと身体を揺らしながら歩くなど、音を感じながら自分なりの身体表現を楽しみます。

リズム遊びにも馴染んでくるとストーリーを交えた「劇遊び」も取り入れました。「畑に行って野菜を取ってこよう!」と呼びかけると、音に合わせて歩き回り、「畑に着いたよ!」と声を掛けると、揺る真似をして「こんな大きいのが取れたの!」「僕のは、これくらいだった!」と想像の世界を楽しみながら自分なりの表現で返してくれます。「あっちに猪がいるよ」と小さな声で呼び掛けると、「大きな声を出したらバシちゃうから静かにしなくちゃ!」という1人の子の声から「しーしー」と口に指を当てたり、忍みみたいに静かに歩いたりなど、状況に応じてそれぞれに表現を楽しんでいます。



どこかな? どこかな?



こんなにとれたよ!



しずかにしずかに・・・

【バーベキューがだーいすき！】

6月頃、砂場で遊んでいる中で、砂場にあるキッチン道具やお皿などからイメージが湧いたのか、どこからともなく「バーベキューやる人！」と仲間を募る声が挙がり、「バーベキューごっこ」が始まりました。最初は数人で楽しんでいましたが、次第に「仲間に入れて！」と友達が集まり、クラス全体に「バーベキューごっこ」が広がっていききました。



とうもろこし作り



お肉を作ったよ！



キャベツ作り

園庭で盛り上がった“バーベキューごっこ”。「お部屋でもバーベキューをしたい！」という子どもたちの声を受け、みんなでバーベキューの食べ物を作ることにしました。「どんな食べ物でバーベキューしたい？」と聞くと、「とうもろこし」「お肉」「マッシュマロ」「キャベツ」など、自身の経験を思い返しながらいろいろな食べ物を提案してくれました。粘土や画用紙、新聞紙などを準備して、早速食べ物を作ってみることに。いろんな種類の食べ物が完成すると、準備した焼き網の上で早速焼いてみて、「何食べますか？」「お肉ととうもろこしをください。」「いい匂いがする！」と、本当にバーベキューをしているかのような雰囲気の中、言葉でのやり取りも楽しみながら夢中になって遊んでいました。



おいしくなーれ！



お肉や野菜をジュージュー



カンパニー！



2学期に入ってから、室内や戸外で「バーベキューごっこ」を楽しむ姿が見られています。そこで、室内でも遊びがさらに広がるように、1学期に作った「とうもろこし」や「なすび」を収穫できる“畑”を作りました。畑から野菜を自分たちで収穫し、その「採れたて野菜」をすぐにバーベキューで味わえるシステムです。そこから触発されたのか子どもたちから「ホタテや魚があったらもっと楽しいかも！」と、実際にバーベキューをした経験からのアイデアが挙がり、「貝と魚・カニも作ろう！」ということに。

貝は茶色の紙を破って砂に見立て、砂の中から掘り出し、焼いて食べる。魚やカニはマグネット式の「魚釣り」で釣ってから焼く、という遊びに発展。収穫して、焼いて、食べる——そんな一連のごっこ遊びを通して、子どもたちはまるで本物のバーベキューをしているように夢中で楽しんでいました。



野菜を畑から収穫し、海で魚やカニをとってから…

みんなでバーベキュー！

最近では砂場だけでなく、な～もの森でも「バーベキューごっこ」をして楽しむ姿が多く見られます。どんぐりや葉っぱなど、自然の中で様々なものを拾い集めると、そのうちの一人が「みんなでバーベキューしない？」と発案すると、そこから「いいね！」「どこですか？」「あの大きい岩のところでもやろう！」と、自分たちで場所を決めて遊びが広がっていきます。

枝を集めて焚き火を作ったり、葉っぱをお肉に見立てて枝に刺して“串焼き”にしたりと、本物のバーベキューのように楽しむ姿が見られます。自然の中で想像を膨らませながら、また自分の想像した世界を「言葉」や「物」を使って友達と共有しながら遊びをもっと楽しく・リアルに発展させていく姿に、子どもたちの成長を感じています。



な～もの森でバーベキュー！

串焼きだよ！



【発表会活動を通して】



人前でのドキドキする気持ちも、2学期からのお当番活動などを通して少しずつ慣れてきたり、「できた！」という自信に繋がったりしているようです。

10月下旬からホールでの発表会活動が始まり、クラスより広いホールでのいつもと違う雰囲気、以前見られていたような緊張感が戻ってきた様子のめろん組さんでしたが、活動を重ねるうちにいつもの元気いっぱいの姿がホールの活動でも見られるようになってきました。



今では他のクラスのお客さんが見ている、歌ったり、体を使って表現したりすることも楽しんでいるめろん組さん。たくさんのお客さんがいる発表会当日はいつも通りとはいかないかもしれませんが、その場に立っているだけでも大きな成長だと感じています。日々楽しんでいる姿を少しでもお見せできたらと思っていますので、温かく見守っていただくと嬉しいです。

